

年 組 名前：

問1

県内で昨年起きた歩行者の交通事故のうち、横断歩道上での事故は約何%ですか。

.....

問2

横断歩道上での事故が多発している時間帯は①～③のうちどれですか。

- [ ] ① 早朝
- [ ] ② 正午～午後2時
- [ ] ③ 日没前後

問3

県内で初めて導入された横断歩道の特徴と効果を書いてください。

特徴:

.....  
 .....  
 .....

効果:

.....  
 .....  
 .....



## 立体的に見える横断歩道

### 県警 歩行者 安全確保へ初導入

県警は10日、立体的に浮き上がって見える横断歩道をJR甲府駅周辺に整備した。横断歩道に気付きやすくすることで、ドライバーに早めの減速を促し、歩行者の安全を確保する狙いがある。県内での導入は初めて。

県警交通規制課によると、横断歩道の白線の周りを青色や黄色に塗ること、ドライバーからは立体的に浮き上がって見え、横断歩道手前での減速や一時停止を意識つける効果があるという。

この日は、歩行者の往来が多い甲府市北口3丁目の市道と、同市丸の内2丁目の県道の2カ所に立体的に見える横断歩道を整備。県警は効果を見た上で、県全体に導入するかを検討するという。

同課によると、県内で昨年起きた歩行者の交通事故は305件で、そのうち100件は横断歩道上での事故だった。7～9月が53件に対し、10～12月は95件で、夕暮れが早まる秋や冬に増加する傾向がある。発生時間帯も午後4～6時が49件、午後6～8時が52件で、日没前後に多発している。

同課の三浦智幸課長補佐は「立体的に見える横断歩道によって、ドライバーが歩行者を守る運転を意識するきっかけになれば」と話している。

〈穴山菜津美〉

(2020年9月11日付 山梨日日新聞 18面)